

2022年11月30日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社山一商事に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社山一商事（代表取締役社長：松本 大輔）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社山一商事については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 廃棄物処理業におけるカーボンニュートラル実現に向けた取り組み

目標 13 気候変動に 具体的な対策を	13.2 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。
目標 15 陸の豊かさも 守ろう	15.2 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。

② 産業廃棄物のリサイクル率向上による資源循環型社会形成への貢献

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.6 2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。

<ご参考>

※ SDG sとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上